

ジェネリック医薬品に 替えてみませんか？

ジェネリック医薬品は、個人の医療費負担軽減はもとより、国民医療費全体の負担を軽減できるお薬です。

ジェネリック
医薬品のことは、
医師・歯科医師・
薬剤師に、ご相談
下さい

Q.1 ジェネリック 医薬品って どんな薬？

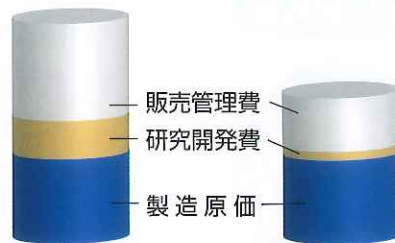
ジェネリック医薬品とは、新薬の特許が終了した後に発売される、新薬と同じ有効成分で効能、効果、用法、用量が同一で、厚生労働省より、有効性・安全性について新薬と同等であることを、厳しい審査を受けて承認された、低価格のお薬です。



Q.2 安くなっても、 効き目や安全性は 心配ないの？

ジェネリック医薬品は、安全性・効能効果については、同等であることが保証されていますが、品質が悪くないのに、なぜ安くなるのでしょうか？

ジェネリック医薬品には、新薬の開発に係る長い時間と研究開発に必要な費用などがいないため、ジェネリック医薬品のメーカーは、安価なジェネリック医薬品を提供できるのです。



新薬(先発医薬品)

ジェネリック医薬品

日本ジェネリック製薬協会HPより

Q.3 どうして国は、 ジェネリック医薬品 使用をすすめているの？

急激な高齢化などにより、日本の国民医療費は増加の一途をたどっており、このうち、薬剤費は約2割を占めています。ジェネリック医薬品の使用を促進することで、限られた医療費資源を有効に活用することができ、国民医療を守ることができます。

国民医療費の推移



中央社会保険医療協議会薬価専門部会(第89回)資料より

安くても、品質は
変わりません。

※すべてのお薬にジェネリック医薬品があるわけではありません。服用しているお薬をジェネリック医薬品に変更できるかどうかについては、医師、歯科医師、薬剤師にご相談ください。



欧米ではジェネリック医薬品が 幅広く使用されています

ジェネリック医薬品の服用されている割合

(医療用医薬品のうちジェネリック医薬品で服用されている薬/ジェネリック医薬品で服用可能な薬)

欧米諸国



欧米諸国は、日本と比べてジェネリック医薬品の使用が遥かに進んでおり、**アメリカやドイツでは8割超、フランス、スペインでも6割程度**をジェネリック医薬品で服用されています。

日本では…



日本では、ジェネリック医薬品で服用されている割合は、**5割に満たない**状況です。
平成25年4月には新たな「後発医薬品のさらなる使用促進のためのロードマップ」が厚生労働省より発表され、国を挙げてジェネリック医薬品の積極的な使用に取り組んでいます。

例えば…

ジェネリック医薬品に変更して、お支払いが300円減った場合。

Aさん

76歳で1割負担



Aさんの負担額が **300円** 減ると、
医療費全体で、**3,000円** 減ることになり、
国や保険者の負担額は、

2,700円 → 医療費削減 となります。

毎月定期的に受診されているのであれば、保険料を毎月2,700円多く取めていただくのと同じ効果があると言えます。

「一般名処方」を知っていますか？

厚生労働省では、ジェネリック医薬品使用を進めるため、「一般名処方」を推奨しています。「一般名処方」は、お薬の名前を製品名（銘柄名）ではなく、有効成分により処方の指示がされています。処方せんを受け付けた薬剤師が、患者さんの要望に沿ったかたちで、最も適切なものを選択してくれますので、詳しくは薬剤師にご相談ください。

処方箋

